

道志小学校 令和のやまなし教育活動モデル事業 実践報告①-1

「お笑い芸人さんから学ぼう！」

実施年月日	令和5年12月12日(火)		実施時間	1時間
			対象学年	全校
実施形態	講演	講師等	高橋なんぐ氏	
<p>実施のねらい</p> <p>主体的な学習者として学習に取り組む際に、必要とされる表現意欲や表現力を高めること。お笑い芸人の表現テクニックと豊富な人生経験におけるエピソードを生かした話を聴くことによって、児童が表現の楽しさを味わい、表現への魅力を感じて、表現の仕方に関心をもつことを期待して実施した。</p>				
<p>活動の概要</p> <p>高橋氏が様々な場所で撮影した画像を使って児童に問いかけながら話が進められた。意外性やギャップなどが笑いを生み出す源泉になることを巧みな話術で実践的に児童へ伝えてくれた。児童は、高橋氏の巧みな話術に大笑いしながら以下のようなことを学んだ。</p> <p>指導内容・笑いを生み出す伝え方(プレゼンの仕方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察の大切さ(伝える元になるものの情報収集) ・思い込みを無くすこと(多様な視点の必要性) ・人との関わりにおける肯定的な捉え方(心理的安定性) 				
<p>実施によって得られた成果</p> <p>◎児童の学びと心理的变化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話すことの楽しさを感じ、楽しく話す方法も学ぶことができた。 ○プレゼンの仕方から画像やコメントの仕方を学ぶことができた。 ○思い込みはよくないこと、見方を変えることで良さが見えてくることを学べた。 ○具体例を通じて物事の多面的な見方を学ぶことができた。 <p>※児童は、講演を聞くことを通してお笑い芸人の表現活動の魅力を感じ、自分にも味わうことができた。お笑い芸人の笑いを生み出すテクニックや画像を生かしたプレゼンテーションの手法に触れる中で、話すことの楽しさやコミュニケーションを取ることを学ぶことができた。お笑い芸人の話から自分の人生を豊かにする生き方や考え方を学び、今後の生活に生かそうという意欲をもつことができた。</p>				

代表的な児童の感想

- ・一つのことで人によって多くの見方があったことが分かった。
- ・自分にとって敵がいる時でも、それ以上の数の味方がいることを忘れてはいけないと思った。
- ・自分にたくさんの味方がいると聞いて、心が軽くなった。
- ・人のことを決めつけないで、よく知るように心掛けたいと思った。
- ・障害のある人の見方は、健常な自分達とは違うことを知った。
- ・嫌いな人がいても見方を変えれば好きになれるところがある。
- ・楽しいことや面白いことを見つけるには、ものをよく観察することが必要だと感じた。

活動の様子

